

<USGS 報告> 2013 年世界加里肥料生産量トップ 10 の国と生産量

(2014 年 6 月 8 日作成)

アメリカ地質調査所 (United States Geological Survey; USGS) は、アメリカ合衆国内務省の傘下にある研究機関である。水文学、生物学、地質学、地理学について、合衆国領内を中心に、自然景観、天然資源、および同国を脅かし得るナチュラル・ハザード（自然現象）を対象とする調査・研究を行っており、同国の地形図および地質図の作成業務も担当している。先日、その USGS は 2013 年世界加里肥料生産量トップ 10 の国名と生産量に関する調査レポートを公開した。下記の内容はそのレポートの要訳である。

表. 2013 年世界塩化加里生産国トップ 10

順位	国 名	2012 年生産量 (万トン)	2013 年生産量 (万トン)	増減率 (%)
1	ロシア	N/A	1530	N/A
2	カナダ	898	1050	16.9
3	ベラルーシ	476	490	2.94
4	中国	410	430	4.88
5	ドイツ	312	300	-3.9
6	イスラエル	190	200	5.26
7	ヨルダン	109	120	10.1
8	チリ	105	110	4.76
9	アメリカ	90	97	7.78
10	イギリス	43.6	43.6	0

第 1 位 ロシア： 塩化加里生産量 1530 万トン

ロシアは世界加里資源第 2 位、加里肥料生産量が第 1 位の国である。Uralkali 社だけで 1000 万トンを生産した。ほかの肥料会社 (EuroChem、PhosAgro など) も 530 万トンを生産し、合計 1530 万トンを生産した。

ただし、Uralkali 社の CEO Sergey Chemezov 氏はロシア大統領プーチンの親友で、国営武器製造会社 Rostec の役員を兼任している。ウクライナ危機により、アメリカや EU から制裁措置を受ける個人の一人である。この制裁が Uralkali 社の塩化加里生産と輸出に及ぼす影響はまだ不明である。

第 2 位 カナダ： 塩化加里生産量 1050 万トン

カナダは世界最大の加里資源を有する国である。現時点で、確認された加里鉱石埋蔵量は世界の約 46% を占める。2013 年塩化加里生産量 1050 万トン、2012 年の 898 万トンより 152 万トン増加した。

カナダ政府自然資源省（Natural Resources Canada）が公表したデータによれば、カナダの加里資源はほとんど Saskatchewan 州にあり、特に南部の Prairie Evaporite Deposit には加里鉱石の埋蔵量が非常に豊富である。現在、カナダには採掘中の加里鉱山が 10ヶ所で、その 9ヶ所が Saskatchewan 州にある。鉱山と精製工場に勤める従業員が約 5000 人である。旺盛な加里肥料需要と優遇なカナダ投資政策により、新たな加里鉱山の探鉱と開発に外国からの投資が絶えない。

第 3 位 ベラルーシ： 塩化加里生産量 490 万トン

ベラルーシは加里資源所有量が世界第 3 位で、旧ソ連時代から塩化加里の生産が盛んである。国営の Belaruskali 社が加里鉱石採掘と精製事業を独占している。主な加里鉱山は Brzezovsky 鉱山、Soligorsk 第 2 鉱山と Soligorsk 第 3 鉱山である。

2013 年 6 月までに Belaruskali 社とロシアの Uralkali 社は共同販売会社 BPC を通して塩化加里を輸出したが、2013 年 7 月に Uralkali 社が BPC から離脱することを発表したことにより、世界市場における塩化加里の価格下落を誘発した。しかし、ベラルーシは 490 万トン塩化加里を生産し、2012 年の 476 万トンより微増した。

ベラルーシ政府とロシア政府の干渉により、Belaruskali 社とロシアの Uralkali 社は再び共同販売同盟を組むことがほぼ確実になる。

第 4 位 中国： 塩化加里生産量 430 万トン

中国は世界最大の加里肥料消費国である。年間加里肥料需要量が 700～800 万トンで、約半分が輸入に依存する。2013 年塩化加里生産量が 430 万トン、2012 年の 410 万トンより 20 万トン増加した。

中国の加里資源はほとんど西北部に点在する塩湖の鹹水であり、資源所有量が世界の 2% しかない。最大の塩化加里メーカーは青海塩湖加里肥料有限会社（Qinghai Salt Lake Potash Company Limited）で、生産能力が 260 万トン／年である。

第 5 位 ドイツ： 塩化加里生産量 300 万トン

ドイツの 2013 年塩化加里生産量が 300 万トン、2012 年の 312 万トンより 12 万トン減少した。1889 年に創業したドイツの K+S 社（Kali und Salz GmbH）はヨーロッパ最大の加里肥料メーカーである。

ドイツの加里資源は北部に集中している。有名な加里鉱山は Werra - Fulda、Landkreis Mansfeld-Südharz、Stassfurt、Magdeburg、Rhin、Hannover 等がある。しかし、資源再調査の結果、加里鉱石埋蔵量が下方修正された。

第 6 位 イスラエル： 塩化加里生産量 200 万トン

イスラエルの 2013 年塩化加里生産量が 200 万トン、2012 年の 190 万トンより 10 万ト

ン増加した。

イスラエルの加里資源は死海の鹹水である。死海沿いの Sdom にある ICL グループの死海加里工場(Dead Sea Works)は世界最大の鹹水を原料とする加里精製工場である。イスラエル ICL グループはりん酸肥料と加里肥料を生産し、世界著名の肥料総合メーカーの一つである。

第 7 位 ヨルダン： 塩化加里生産量 120 万トン

ヨルダンの 2013 年塩化加里生産量が 120 万トン、2012 年の 109 万トンより 11 万トン増加した。

イスラエルと同じ、ヨルダンの加里資源は死海の鹹水である。ヨルダンの塩化加里生産事業は国営の APC 社(Arab Potash Company)が独占する。APC 社は 1983 年から死海の鹹水を原料として塩化加里とその他の無機塩を抽出精製する事業を開始し、2058 年までの死海鉱産資源開発独占許可権がヨルダン政府から授与された。現在、APC 社は死海に 3 つの精製工場を有し、従業員 2000 人を超えた。

第 8 位 チリ： 塩化加里生産量 110 万トン

チリの 2013 年塩化加里生産量 110 万トン、2012 年の 105 万トンより 5 万トン増加した。

チリの加里資源は主に塩湖の鹹水である。特に Atacama 乾塩湖は南北 80km、東西 40km の広さを有する世界有数の大塩湖で、鹹水には豊富なリチウムを含み、加里の含有量も高い。

チリ SQM 社 (Sociedad Quimicay Minera) はチリ最大の加里肥料メーカーである。塩化加里のほか、チリ北部の Salar de Atacama 地区に鹹水からリチウムとヨウ素を生産する事業も展開している。

第 9 位 アメリカ： 塩化加里生産量 97 万トン

アメリカの 2013 年塩化加里生産量が 97 万トン、2012 年の 90 万トンより 7 万トン増加した。アメリカ産塩化加里は大部分が肥料用で、少量が化学工業に原料として供する。塩化加里の生産額が 6.49 億ドルに達した。

主な塩化加里产地はニューメキシコ州とユタ州にある。特にニューメキシコ州は 2 ヶ所の大型加里鉱山があり、塩化加里の最大产地である。ユタ州は塩湖の鹹水から塩化加里を生産する精製工場 3 カ所がある。一方、旧产地のミシガン州にある唯一の加里鉱山がすでに閉鎖された。

第 10 位 イギリス： 43.6 万トン

イギリスの 2013 年塩化加里生産量は 2012 年と同じの 43.6 万トンである。

イギリスの主な加里鉱山はノースヨークシャー州にある Boulby 加里鉱山である。イスラ

エル ICL グループ傘下の Cleveland Potash 社がこの鉱山を所有する。当該鉱山はヨーロッパ深さ 2 位の地下鉱山で、長年の開発により地下に採掘通路が非常に発達し、有名である。